

速報

ハビタット・フォー・ヒューマニティ・パートナーズとアジア・パルプ・アンド・ペーパーが協力して、世界初のエコツーリズム村を設立

世界各国の訪問者にとって、インドネシアの歴史・文化を身近なものにするプロジェクト

2011年1月20日、ジョグジャカルタ 本日、ハビタット・フォー・ヒューマニティ・インドネシアは、インドネシアで最も美しい古代寺院群の近くに450戸を越える住宅や宿泊施設を設置するエコツーリズム村プロジェクトを立ち上げるため、アジア・パルプ・アンド・ペーパー（APP）と協力することを発表しました。このプロジェクトは、観光客を誘致するために500世帯を支援し、居住のためのより良い住宅と生計手段を提供することを目的としています。これにより、地域社会の住民は、接客の心得とエコツーリズムのノウハウを身につけることとなります。

この開発は、ユネスコの世界遺産である、紀元850年頃に建設されたプランバナン寺院近隣のソラン村で実施されます。またこの村は、昨年噴火したインドネシアで最も有名な火山であるメラピ山の近くに位置しています。

ソランには音楽と工芸の長い伝統がありますが、世帯の60パーセントは貧困線以下で暮らしています。このプログラムは、村民の住宅を改善しつつ、歴史ある地域の文化的伝統に則り、持続可能で環境にやさしい観光ビジネスを展開していくものです。この開発によって、神聖な寺院の見学や付近の自然景勝地の訪問、文化的パフォーマンスを楽しむ旅行者の宿泊施設が建設されることで、地域の自然及び文化的な財産が世界と共有されることとなります。

「これは、地域社会全体に住宅とビジネス・チャンスを提供する世界初のハビタット・プロジェクトです。さらに言えば、これこそがインドネシアの貧困と闘うために必要とされているプロジェクトなのです」とハビタット・フォー・ヒューマニティ・インドネシアの所長ジェイムズ・ツンブアンは述べています。「他に類を見ないこのプロジェクトにより、地域社会の大部分の住宅が改善されるだけでなく、数世紀にわたって守り継がれてきた工芸や文化を通じ、ソラン村の人々が経済的な恩恵を受けることが可能になります」

APPの持続可能性担当役員アイダ・グリーンベリーは、この計画に対するAPPの支援は、インドネシアの自然と文化という国家の宝庫を保護するという、APPの継続しているコミットメントの一環であると語っています。「ソランのプロジェクトは世界各国の観光客の訪問をより容易にするものであり、インドネシアの文化に対する世界の理解を深める一助となるでしょう。これは、持続可能な経済機会を創出しつつ、その一方で国の宝物を保護するものです。APPは、これまで当社が成し遂げてきたことのリストにソランのプロジェクトが加わることを誇りに思っています。当社はこれにとどまらず、インドネシアや世界に持続的な幸せをもたらすため、さらなる種をまいていきます」

三年にわたるこのプロジェクトでは、家族の住宅に加え、ジャワ島中央部を訪ねるエコツーリストを宿泊させる追加の場所と設備が提供されます。こうした住宅には次のものが含まれます：

- 滞客が睡眠を取ることができる客室
- 滞客の衣類や寝具を洗う洗濯設備
- 滞客の食事を準備できる広いキッチン設備
- 滞客のトイレタリーのために清潔に保たれたトイレ

また、住宅は耐震構造で建設され、このプロジェクトに対するAPPの毎年の寄付金の20パーセントは現在進行中の災害救済活動用に貯蓄されます。

この開発取り組みの詳細は、まだ地域社会のメンバーとまとめられているところですが、初期計画としては、エコツーリズムの宿泊施設を運営する250人以上の住民を訓練して行きます。

- 50人が洗濯物の取扱いに関する講習を受ける。
- 100人が滞客のための伝統的な食事を適切に調理する講習を受ける。
- 100世帯が文化的興行や伝統工芸品の販売に関する講習を受ける。

さらに数百人が、地域社会を基盤とする災害危険回避の講習を受けることとなります。

ソランで暮らすパーティニさん(多くのインドネシア人の名前は、苗字と名前のどちらか一方しかありません)は次のように語りました。「私達の夫は農民や労働者ですが、子どもたちには大学に行ってほしいと思っています。家庭の主婦として、私は工芸品を作ることができます。主婦もときには*gejog lesung*(伝統的なパフォーマンス・アート)を演じることがあります。でも、私達は*gejog lesung*でお金をもらったり、工芸品をお金に替えたりする方法を知りません。このプログラムで私やみんなの家族の収入が上がるとういんですね。私達はこれから一所懸命働くつもりです。私達はみな、前進という同じ夢を共有しているのですから」

新たな開発への取り組みは昨年中に開始されるはずでしたが、メラピ山の噴火のために延期されました。ソランは薄い火山灰に覆われましたが、村人たちは短期間で清掃を終え、現在ではエコツーリズム・プロジェクトに着手する準備ができています。ハビタット・インドネシアは、手がけている他のプログラムと同様、計画から建設に至る開発の全ての段階で、地域社会のリーダー、地域のステークホルダー、村民のひとりひとりに参加してもらおうつもりです。

++

ハビタット・フォー・ヒューマニティ・インドネシア

ハビタット・フォー・ヒューマニティ・インドネシアは、簡素で頑丈な手ごろな価格の住居を低所得世帯のために建設することで、ホームレス問題を根絶しようと尽力している全国的非営利組織です。

ハビタット・フォー・ヒューマニティ・インドネシアは、ミラード、リンダ・フラー夫妻によって1976年に設立された世界的なネットワークであるハビタット・フォー・ヒューマニティ・インターナショナルの支部です。ハビタット・フォー・ヒューマニティ・インドネシアは1997年に設立され、現在は、ジャカルタ、バンドン、ジョグジャカルタ、スラバヤ、マナド、バタンに7ヶ所の支局があります。ハビタットはインドネシアの13州の58地域にてその取り組みを拡げています。

ハビタットは、信条や性別、宗教、肌の色や人種に関係なく、貧困線以下で暮らしているインドネシアの人々の生活を一変させることを願っています。

APPについて

アジア・パルプ・アンド・ペーパー（APP）は、インダ・キアット紙パルプ会社、ピンド・デリ紙パルプ会社、チウィ・キミア製紙会社、ロンター・パピルス紙パルプ会社、エカマス・フォルトゥナ、ユニヴィーナスなど、インドネシアにある多くの工場で生産されている紙製品の総合ブランドです。インドネシアに本社を置くAPPは、6大陸の62ヶ国以上の国々で製品を販売しています。APPの生産設備の大部分はLEIとPEFCによる加工・流通過程認証を取得しています。

APPは、インドネシア全域で絶滅の危機に瀕している野生生物や土地固有の動植物を保護・保全することをコミットしています。パルプ材植林地の持続可能な管理に加え、APPは生物多様性の高い地域や貴重な泥炭地地域における多くの大規模プロジェクトを支援しています。この中には、リアウ州にある10万6,000ヘクタールのセネピス・スマトラトラ保護区、リアウ州にある17万2000ヘクタールのギアム・シアク・ケチル-ブキット・バツ生物圏保護区、ジャンピ州のタマン・ラジャ自然保護区、カリマンタンのクタイ・オランウータン・プログラム、ウジュン・クロン国立公園にある7万6000ヘクタールのジャワサイ保護区などがあります。

詳細情報については、下記にご連絡ください：

James Tumbuan,
National Director, Habitat for Humanity
Email: james.tumbuan@habitatindonesia.org
電話：+62811889786
住所：National Office, Graha Arteri Mas Kav. 31
Jl. Panjang No. 68 Kedoya, Jakarta 11520, Indonesia

Loren Mack,
Public Relations Manager, Sustainability & Stakeholder Engagement, APP Indonesia
Email: Loren_M_Mack@app.co.id
www.asiapulpaper.com
電話：+62-813-829-668-13
Fax：+62-21-316-2617
住所：c/o BII Plaza Tower 2 fl. 15th Jl. MH. Thamrin No. 51, Jakarta 10350